

語名]						
大野 E S D 自然学校 [Experiential learning at the ESD Nature School ]						
担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]						
井倉洋二[0994-32-6329]						
E-Mail	inotch@ms.kagoshima-u.ac.jp		受講対象	全		
課程区分	共通教育	学科/科目・分野等	教養 3分野	開講期	後期集中講義	単位等 2
共同担当教員名						
小栗有子・福満博隆						
教育目標のキーワード						
視野・判断力・探求能力/社会的貢献意識						
学習目標(学生の達成 目標)						
1)自然体験や農業体験などの体験型環境教育を実地に学ぶ 2)児童生徒や住民との交流を通じてコミュニケーションスキルを向上させる 3)持続可能な社会を目指すESDと自然学校の役割について知る						
授業概要(目的・内容・方法)						
鹿児島大学と垂水市が共同で設立した「大野ESD自然学校」(垂水市)で実施される自然体験活動や総合学習の受入れ事業などにボランティアスタッフとして参加し、児童生徒や地域住民との交流体験を通じて、環境教育・ESDを実践的に学ぶ。						
授業計画(15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)						
下記のスケジュールでオリエンテーションと事前講義を行う。本番は大野ESD自然学校にて、3日間以上のボランティアスタッフを体験する。終了後には事後レポートを課す。また、学期間の最後に活動の発表会を行う。なお、以下の1)~15)のすべてに参加することが単位認定の条件である。						
1)オリエンテーション : 授業内容説明 講義 : 環境教育と大野ESD自然学校(6月下旬~7月初旬頃) 2)講義 : 持続可能な社会をつくるESD(7月上旬頃) 3)講義 : 自然体験活動の意義と目標 オリエンテーション : スケジュール等説明(7月上旬~中旬頃) 4-12)大野ESD自然学校体験: 大野ESD自然学校で8月~1月の間に行われる各種事業(オリエンテーション時にスケジュールを配布)の中から各自の希望に合わせて3日間以上ボランティアスタッフとして参加する。 13-14) レポート作成 15) 活動のふりかえりと発表(1月下旬~2月上旬頃)						
受講要件	自然体験, 環境教育, 持続可能な社会作りなどに興味がある人					
評価基準および方法	受講態度(行動, 積極性, 発表等)を60点, 事後レポート(活動内容や目標達成度に関するもの)を40点で評価する。					
教科書	なし		参考書	適宜紹介する		
授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	メールにて対応		その他	<p>&lt;履修申請の方法と流れ&gt; 履修希望者は、前期の集中講義履修申請日(6月)に共通教育係窓口にて登録手続きをしてください(ただしこれは「後期」集中講義です)。登録手続きと同時に、簡単な受講動機を書いたメールを担当教員(井倉)へ送ってください(アドレスは上記)。希望者多数の場合は、受講動機等を参考にして担当教員が選考します。数日後に選考結果を発表、受講者を確定します。&lt;その他のアナウンス&gt; 1)受講生は20人程度に制限します。2)体験活動への参加にかかる交通費や食費は各自の負担になります。3)学生教育研究災害傷害保険およびインターンシップ・介護体験活動・教育実習等賠償責任保険に必ず加入してください。</p>		